

算数科 小学校 3年

単元名 **べつべつに、いっしょに**
啓林館「わくわく算数3下」

単元の流れ（全6時間）

第1次【第1時】

主な学習内容

「べつべつに、いっしょに」の単元について学習の見通しを持ち、自分の学習スタイルを選択する。

第2次【第2時～第4時】

主な学習内容

「べつべつに」解く方法と「まとまりをを考えて」解く方法の2通りの考えがあることに気付く。

【第3時】（本時）

絵はがきと額縁の代金

代金を求める問題を「まとまりをを考えて」解く方法を考える。



単元指導
計画はこ
ちら

CLICK

第3次【第5時～第6時】

主な学習内容

単元の復習と学習後のアンケートをする。

評価問題

進級式の練習問題をし、習熟を深める。

CLICK

単元目標

○加法と乗法を組み合わせた4要素の問題を、共通の要素に着目してまとめて考える。

単元構成の意図

本単元は、乗法の順思考と加法の順思考が組み合わさった問題で構成されている。

4要素3段階と3要素2段階の2通りの考え方を基盤にしなが、ら、「まとまりをを考えて」解く思考法のよさに着目させ、漸次その思考法に慣れさせることをねらっている。

児童の実態として習熟の程度が高く手際よく自力解決できる児童もいると思われる。従って、学級内での習熟の状況を把握して個に応じた指導を行っていく。

授業改善のポイント

- ①【個に応じた指導の改善】
 - ・児童の学習方法のニーズを把握し学習コースを設定して対応する。
 - ・指導と評価の一体化を図る。
- ②【関心意欲の低さの改善】
 - ・学習課題を自分ごとに立てさせる。
 - ・個に応じた多様な学習方法を提供する。
- ③【自力解決や練り合い】
 - ・多様な考え方を比較検討することによって共通点や相違点を明らかにしながら、算数的なよさに気付かせる。
- ④【導入の工夫】
 - ・導入に必要な時間と内容を吟味することによって、個々に意欲を持たせる。
- ⑤【算数ノートの書き方】
 - ・自分と異なる考え方やキーワードを中心にノートに書かせる。
- ⑥【自尊感情の育成】
 - ・算数作文を通して、メタ認知(自分の能力等を客観的に振り返る力)を育成する。
 - ・生徒指導の3機能を生かした授業を行う。

HOME

本時の流れへ